

中川一政記念美術館

松任駅の東側に小さな美術館がある。中川一政記念美術館である。電車の待ち時間に余裕があったら、是非立ち寄って欲しい場所である。

館内は決して広くはない。しかし、壁に掛けられた作品達が見る者に迫ってきて圧倒される。そして、その一つ一つの作品について見入ってしまい、時間を忘れてしまう。ひょっとすると、電車の待ち時間では足りないかもしれない。

余裕があれば、隣接する「ふるさと館」の庭や「千代女の里 俳句館」を訪れれば、更に充実した時間になるだろう。

◇中川一政（1893－1991）

1893 東京市本郷に生まれる

1914 巽画会展に出品した作品が岸田劉生に見いだされて画家を志す

1975 文化勲章を受章。

1986 母親の故郷である白山市に中川一政記念美術館が開館
（母親は、白山市相川新町出身）

◇美術館

- ・中川一政氏より作品の寄贈を受け、1986年に開館
- ・油彩・岩彩・書・陶器等 約300点の作品を収蔵
- ・常時70～80点余りを展示
- ・「薔薇」「向日葵」「駒ヶ岳」等の絵画をはじめ、書や陶器など全てに一境地をなした画伯の生きた証ともいえる名品に出会える。

◇別館

- ・中川一政が生涯にわたって手がけた装丁本を展示
- ・「画は生きていなければならぬ」と語る中川一政の世界を楽しめる

開館時間 午前9時 ～ 午後5時

入館料 一般200円
高校生100円
(中学生以下無料)

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）

